

B-29 のりつけ布の吸湿性と制電効果に関する一考察

日本女大家政 ○倉崎順子・東京家政学院家政 山田光子・日本女大家政 大野静枝

目的 のりつけ布の性能として、洗浄性、汚染性、防皺性、剛軟度などについての業績は多いが、吸湿性、制電効果に関するものは比較的少ないようである。そこで、各種ののりつけ布を作成し、吸湿性、並びに制電効果について検討した。

方法 綿、アセテート、ナイロン、ポリエステルなど4種の精練白布にのりの種類として、デキストリン、PVA、CMC(1)、CMC(2)の4種を用い、濃度0.05、0.1、0.5%の3段階に分けてのりつけし、その吸湿性と帯電量を測定した。吸湿性は、40、60、80%に湿度調製されたデシケータ中に、各種ののりつけ布を一昼夜放置した後、秤量し、吸湿量を求めた。帯電量は、Static Honesto Meterを用いて、静電気を発生させ、その帯電量を検討した。

結果 吸湿性については、のりつけした布は原布に比して、吸湿量が増大し、特に綿布、ナイロン布には顕著にあらわれた。調製湿度が高くなる程、各試布とも吸湿量が増大することは当然であるが、今回ののりつけした濃度範囲では、濃度が大きくなる程、吸湿量が一般に増大し、濃度0.5%で、ナイロン布が20%前後も原布より吸湿量が増大した。制電効果については、CMCのりつけ布は各試布ともりのり濃度の大きくなる程、効果がみられ、PVA、デキストリンは、原布の制電性より大となるものもあり、効果の程度はみられなかった。